



NetApp Element Plug-in for vCenter Server

リリース ノート

バージョン4.3

2019年7月 | 215-14646_A0_UNR001
ng-gpso-jp-documents@netapp.com

目次

プラグインの概要	4
vCenter Plug-inの互換性	5
VMware vSphereの前提条件	6
プラグインのアップグレード	7
今回のリリースの新機能	8
既知の問題と解決済みの問題および他のドキュメント	9
ネットアップ サポートへの問い合わせ	10
著作権に関する情報	11
商標に関する情報	12
マニュアルの更新について	13

プラグインの概要

NetApp Element Plug-in for vCenter Server (VCP) はWebベースのツールで、VMware vSphere Web Clientユーザ インターフェイス (UI) に統合されます。VMware vSphereの拡張機能として動作する使いやすく拡張性に優れたインターフェイスで、NetApp Elementソフトウェアを実行しているストレージ クラスタを管理および監視できます。

リリース ノートは、ストレージ ソリューションの導入、管理、トラブルシューティングの担当者、および仮想マシン (VM) のストレージを割り当てる必要があるVMware管理者の方を対象としています。また、その他のITプロフェッショナルやソフトウェア開発者の方にも役立ちます。

vCenter Plug-inの互換性

NetApp Element Plug-in for vCenter Serverは、最新バージョンのElementソフトウェア、VMware vSphere、vCSA、およびVMFSと互換性があります。

サポートされるElementソフトウェアバージョン

次のメジャー バージョンをサポートします。

- Element 11.x
- Element 10.x

サポートされるVMware vSphereバージョン

次のメジャー バージョンのVMwareソフトウェアをサポートします。

重要: vCenter High Availability (vCenter HA) はサポートされません。vCenterでのIPv6アドレス設定はサポートされません。

管理ノードの仮想マシンのSnapshotはサポートされていません。本番環境での管理ノードのSnapshot作成やSnapshotからのリストアは、予期しない動作につながることがあります。

- VMware vSphere 6.7
 - VMware vCenter Server 6.7 Update 1
 - VMware ESXi 6.7 Update 1
 - VMFS5およびVMFS6のデータストア

注: このプラグインは、HTML5 vSphere Web Clientバージョン6.7 U2とは互換性がありません。Flash / FLEX用のvSphere Web Clientバージョン6.7 U2とは互換性があります。

- VMware vSphere 6.5
 - VMware vCenter Server 6.5 Update 1以降
 - VMware ESXi 6.5 Update 1以降
 - VMFS5およびVMFS6のデータストア
- VMware vSphere 6.0
 - VMware vCenter Server 6.0以降
 - VMware ESXi 6.0以降
 - VMFS5のデータストアのみ

注: データストアは、選択したESXiホストでサポートされている最も高いバージョンのVMFSを使用して作成されます。

VMware vSphereの前提条件

NetApp Element Plug-in for vCenter Serverを使用するには、vCenterとESXiを搭載し、ソフトウェアiSCSIアダプタとiSCSIネットワークが設定されたvSphere 6.0、6.5、または6.7が必要です。

このプラグインは、HTML5 vSphere Web Clientバージョン6.7 U2とは互換性がありません。Flash / FLEX用のvSphere Web Clientバージョン6.7 U2とは互換性があります。

データストアの作成には選択したESXiホストでサポートされる最も高いVMFSバージョンが使用されるので、VMFSの互換性に関する問題を防ぐために、実行するvSphereおよびESXiのバージョンをすべてのクラスタ メンバーで統一する必要があります。

注意：vSphere HTML5 Web ClientとFlash Web Clientは別々のデータベースを使用しており、両データベースを統合することはできません。一方のクライアントに追加したクラスタは、もう一方のクライアントで認識されません。両方のクライアントを使用する場合は、両方にクラスタを追加してください。

プラグインのアップグレード

NetApp Element Plug-in for vCenter Serverをアップグレードする手順については、ユーザガイドの「開始前の準備」セクションの該当するトピックを参照してください。

関連情報

*SolidFire*オールフラッシュストレージドキュメンテーションセンター
*NetApp HCI*ドキュメントセンター

今回のリリースの新機能

NetApp Element Plug-in for vCenter Serverバージョン4.3には、セキュリティの機能拡張、バグ修正、およびNetApp Elementソフトウェア用の管理ノード バージョン11.3のサポートが含まれています。

管理ノード11.3の互換性

管理ノード（mNode）は、Elementソフトウェアベースの1つ以上のストレージ クラスタと一緒に実行される仮想マシンです。このノードは、監視とテレメトリなどのシステム サービスのアップグレードと提供、クラスタのアセットと設定の管理、システムのテストとユーティリティの実行、ネットアップ サポートへのアクセス許可（トラブルシューティング）に使用します。

Element 11.3管理ノードは、コンテナを使用して個々のサービスを提供する新しいモジュラー アーキテクチャに基づいています。Element 11.3はこの新しいアーキテクチャを実装した最初のリリースで、すべてのサービスがコンテナに移行されたわけではありません。この変更により、管理ノードの一部の設定方法が以前のバージョンから変更されました。具体的には、一部のサービスはREST APIを使用して設定できるようになりました。この操作はUIからも実行できます。

利用可能なマイクロサービスの一覧については、[管理サービス リリース ノート](#)を参照してください。

最新の管理ノードには、次の変更点も含まれています。

- インストール スクリプトまたはアップグレード スクリプトを使用するか、管理ノードから管理サービスREST APIを使用して、プロキシ サーバを構成に追加できます。`sfsetproxy`は使用されなくなりました。
- インストール スクリプトとアップグレード スクリプトを使用して、Active IQテレメトリを有効にすることができます。アップグレードまたはインストール後、管理サービス REST APIを使用してこのサービスを有効化または変更できます。
- 管理ノードの仮想マシン（VM）が削除された場合や失われた場合に設定データをリストアできます。永続ボリュームを有効にして、管理ノードの設定データをローカルなVMではなくElementボリュームに格納することができます。そのため、管理ノードの設定データを管理ノードVMが使用されなくなったあとも維持することができます。管理ノードVMが失われた場合は、交換用の管理ノードVMを再接続して失われたVMの設定データをリカバリできます。
- IPv6アドレスはサポートされません。

NetApp Elementソフトウェアストレージ ノードのアップグレード用HealthTools、サポートツール、NetApp HCIのアラート設定、およびリモート サポート トンネリングも管理ノードから使用できます。

注：管理ノードの仮想マシンのSnapshotはサポートされていません。本番環境での管理ノードのSnapshot作成やSnapshotからのリストアは、予期しない動作につながります。

関連概念

[既知の問題と解決済みの問題および他のドキュメント](#) (9ページ)

関連情報

[管理サービス リリース ノート](#)

既知の問題と解決済みの問題および他のドキュメント

ネットアップサポートサイトには、このリリースでの既知の問題と解決済みの問題、および他の製品ドキュメントの詳細が掲載されています。

関連概念

[今回のリリースの新機能](#) (8ページ)

関連情報

[NetApp HCIの既知の問題と解決済みの問題](#)

[SolidFireオールフラッシュ アレイの既知の問題と解決済みの問題](#)

ネットアップ サポートへの問い合わせ

ネットアップ製品に関するサポートのご依頼、ご意見やご要望については、ネットアップ サポートまでお問い合わせください。

- Web : mysupport.netapp.com

著作権に関する情報

Copyright © 2019 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S.A.

このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

ここに記載されている「データ」は商品目（FAR 2.101で定義）に該当し、その所有権はネットアップに帰属します。米国政府は、データが提供される際の米国政府との契約に関連し、かつ当該契約が適用される範囲においてのみ「データ」を使用するための、非独占的、譲渡不可、サプライセンス不可、世界共通の限定的な取り消し不可のライセンスを保有します。ここに記載されている場合を除き、書面によるネットアップの事前の許可なく、「データ」を使用、開示、複製、変更、実行、または表示することは禁止されています。米国国防総省のライセンス権限は、DFARS 252.227-7015 (b) 項に規定されている権限に制限されます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、ネットアップの商標一覧のページに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

<http://www.netapp.com/jp/legal/netapptmlist.aspx>

マニュアルの更新について

弊社では、マニュアルの品質を向上していくため、皆様からのフィードバックをお寄せいただく専用のEメールアドレスを用意しています。また、GA/FCS版の製品マニュアルの初回リリース時や既存マニュアルへの重要な変更があった場合にご案内させていただくTwitterアカウントもあります。

本マニュアルの改善についてご提案がある場合は、次のアドレスまでコメントをEメールでお送りください。

ng-gpso-jp-documents@netapp.com

その際、担当部署で適切に対応させていただくため、製品名、バージョン、オペレーティングシステム、弊社営業担当者または代理店の情報を必ず入れてください。

GA/FCS版の製品マニュアルの初回リリース時や既存マニュアルへの重要な変更があった場合のご案内を希望される場合は、Twitterアカウント@NetAppDocをフォローしてください。